

低炭素社会シンポジウム

～「イノベーション創出」「サステナブル経営」「森林資源活用」「市民との協働」による低炭素社会の実現を目指して～

開催趣旨

昨年12月、デンマーク・コペンハーゲンにて「国連気候変動枠組み条約第15回締約国会議(COP15)」が開催されたほか、我が国においても「温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比25%削減」という目標を掲げられるなど、国内外で地球温暖化防止に向けた議論が活発に行われており、いわゆる「低炭素社会」構築の必要性が叫ばれています。

低炭素社会づくりにあたっては、「地球環境の保全」と「経済社会の持続的な発展」がともに進むように取り組むことが重要です。そのためには、住民、企業、行政といった多様なプレイヤーが、環境・エネルギー技術を生かした製品の生産・導入、革新的技術の研究開発促進から、森林資源の活用、社会システムや生活様式の変革等に至るまで、様々な視点から主体的に取り組んでいく必要があります。

そこで、低炭素社会実現に向けた世界の動きや、ここ三重県をはじめ全国各地で始まっている低炭素社会実現に向けた様々な取組をご紹介しますとともに、実際にどのような取組をしていくべきなのかを探ることで、今後の活動の契機としていただくため、「低炭素社会シンポジウム」を開催します。

基調講演 (第2ホール)

：「エネルギーと環境の国際動向」

寺島 実郎 氏

財団法人日本総合研究所会長 多摩大学学長 株式会社三井物産戦略研究所会長

定員：600名



このシンポジウムは、経済産業省「低炭素社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業」の一環として実施します。

分科会1 (第2ホール)

：「地球温暖化対策の推進と産業競争力強化の両立
～グリーン・イノベーションの創出に向けて～」

分科会2 (第3ホール)

：「サステナブル経営セミナー
～低炭素社会に向けて企業が目指すべき環境経営～」

分科会3 (第4ホール)

：「企業等多様な主体による森林づくりとCO2の吸収」

分科会4 (第3展示室)

：「企業と市民活動団体が連携協働で進める低炭素社会づくり」
第4展示室で「みえ・環境活動賞」受賞団体の展示を同時開催

平成22年3月5日(金)

四日市市文化会館

(四日市市安島二丁目5-3)

プログラム:

11:30～	開場
12:30～12:45	開会挨拶
12:45～14:15	基調講演
14:15～14:30	休憩
14:30～16:00	分科会1, 2, 3, 4

参加無料



近鉄四日市駅の南改札口を出て、西出口から西へ徒歩10分
駐車場は400台分です。なるべく公共交通機関をご利用ください。

申込・お問い合わせ先

〒514-0004 三重県津市栄町1丁目891 三重県合同ビル5階
財団法人三重県産業支援センター 産業支援部 イノベーション推進課(担当:石井)
TEL:059-271-5780 FAX:059-228-3800 E-mail:innovation@miesc.or.jp
URL://www.miesc.or.jp/innovation/teitannso/seminar3-5.htm

主催：三重県、四日市市、財団法人三重県産業支援センター

後援：朝日新聞社、伊勢新聞、NHK津放送局、(社)共同通信社津支局、産経新聞津支局、時事通信社、中京テレビ放送(株)、中日新聞社、中部経済新聞三重支社、中部日本放送、東海テレビ放送、東海ラジオ放送、日刊工業新聞社、日本経済新聞津支局、毎日新聞社、三重エフエム放送(株)、三重テレビ放送、メ〜テレ、読売新聞社(50音順)

各分科会の概要

<p>分科会1 「地球温暖化対策の推進と産業競争力強化の両立 ～グリーン・イノベーションの創出に向けて～」 一般的に「低炭素社会」というと、企業にとっては事業活動の制限やコストアップに繋がると考えられがちです。しかし考え方を変えれば、生産システム・プロセスの改善による省資源・省エネルギーや、成長有望分野である環境・エネルギー分野への進出といった、低炭素社会の実現に貢献する取組を進めることは、企業の競争力強化にも繋がるものです。 そこで本分科会では、来るべき低炭素社会の姿やそれに伴う産業構造・社会システム等の変貌を見据えつつ、企業にとって今何が求められているのか、これから具体的にどのような取組をしていくべきか、について探ります。 コーディネーター 加藤 敏春 氏 (国際NGOスマートプロジェクト代表、元内閣審議官、東京大学大学院客員教授) パネリスト 坂口 光 氏 (中部電力株式会社執行役員環境・立地本部環境部長) 山田 正信 氏 (パナソニック電工株式会社津工場副理事) 本木 啓生 氏 (株式会社イースクエア代表取締役副社長) 佐久間 裕之 氏 (三重県中小企業団体中央会会長、株式会社スエヒロEPM代表取締役会長) 荒川 嘉孝 氏 (経済産業省中部経済産業局資源エネルギー環境部長)</p>
<p>分科会2 「サステナブル経営セミナー ～低炭素社会に向けて企業が目指すべき環境経営～」 低炭素社会構築に向けては、企業が率先実行し、自らの環境経営を高めていく必要があります。企業の取組は、企業単体としての取組、取引先も含めての企業グループとしての取組、異業種も含め企業間の結び付きによる取組が考えられます。 そこで本分科会では、CO2削減の優秀事例と県内企業の動向を紹介し、その考え方を共有するとともに、県内企業取組のブラッシュアップと新たな取組の創造の場とします。 コーディネーター 福島 哲郎 氏 (株式会社日本環境認証機構顧問、日本環境経営大賞審査員) パネリスト 細田 基則 氏 (レンゴー株式会社環境・安全衛生部長) 森田 亮一 氏 (住友電装株式会社環境管理部長) 玉重 宇幹 氏 (太平洋セメント株式会社藤原工場長) 生川 好彦 氏 (エス・エヌ・ケー・テクノ株式会社代表取締役)</p>
<p>分科会3 「企業等多様な主体による森林づくりとCO2の吸収」 京都議定書で「森林のCO2吸収量」が位置づけられたこともあり、企業がCSR活動の一環として「森林づくり」に取り組む事例が増えています。 そこで本分科会では、県内で進められている様々な「企業による森林づくり活動」の事例発表を通じて、企業による森林づくり活動の促進を図るとともに、参加いただいた方々に森林に対する理解を深めていただく機会とします。 コーディネーター 田中 和博 氏 (京都府立大学生命環境部森林学科教授) パネリスト 筒井 真 氏 (株式会社三重銀総研専務取締役調査部長) 西畑 直樹 氏 (株式会社INAXサステナブルイノベーション部) 瀧口 邦夫 氏 (NPO法人「森林の風」事務局長) 西口 昌利 氏 (亀山市環境森林部環境森林保全室長)</p>
<p>分科会4 「企業と市民活動団体が連携協働で進める低炭素社会づくり」 地球温暖化防止(低炭素社会構築)に関しては、企業取組だけでなく、市民を中心とした家庭部門での活動も重要となります。 そこで本分科会では、県内における企業と市民団体の協働による環境活動の成功事例を紹介することで、来場者である企業関係者と市民団体関係者に情報を提供し、新たな活動を創造するきっかけの場を提供します。また、連携協働活動の必要性の再認識や課題抽出も行い、現在の活動の活性化も図ります。 コーディネーター 朴 恵淑 氏 (国立大学法人三重大学学長補佐) パネリスト 門井 徳孝 氏 (株式会社デンソー総務部企画2室DECOポン事務局) 中山 勝也 氏 (リコー中部株式会社三重支社BP営業部BP販売グループ) 森 一知 氏 (四日市ウミガメ保存会代表) 寺田 忍 氏 (三重執鬼株式会社代表取締役社長) 長谷川 将之 氏 (三重大学環境ISO学生委員会委員長) 内藤 修久 氏 (中部電力株式会社環境・立地部環境部環境経営グループ)</p>

〈申込先〉財団法人三重県産業支援センター イノベーション推進課 FAX059-228-3800

基調講演 分科会申込書			
お名前			
ご連絡先	会社名		
	住所		
	電話番号/FAX		
	E-Mail		
基調講演について	参加する	参加しない	
分科会について	参加する	参加しない	
参加する場合 希望する分科会 ※定数に達した場合、当日、会場の移動をお願いすることがあります。	第一希望	第二希望	
	分科会 1 分科会 3	分科会 2 分科会 4	分科会 1 分科会 3

※ご記入いただいた個人情報は、申込の確認及び今後主催者が開催する各種催物等の情報提供以外の目的には使用いたしません。